

知床国立公園利用適正化検討会議について

1. 設置目的

知床国立公園の望ましい保護と利用のあり方について平成13年度に策定された知床国立公園適正利用基本構想に基づき、知床国立公園の適切な保護と利用の推進を図るため、学識経験者、関係団体及び関係行政機関により構成する利用適正化検討会議を設置。

2. 検討事項

- (1) 利用適正化基本計画に関する事項
- (2) 利用適正化基本計画の具体化に関する事項
- (3) 利用ルールに関する事項
- (4) その他目的達成のために必要な事項

3. 構成

裏面のとおり（検討委員、地域関係団体、関係行政機関）

4. 検討経緯

平成14年 3月 「知床国立公園適正利用基本構想」策定
平成16年12月 「知床国立公園知床半島先端部地区利用適正化基本計画」策定
平成17年 9月 「知床国立公園知床半島中央部地区利用適正化基本計画」策定
平成18年 4月 「環境省からの立入自粛要請」
平成19年 3月 「平成19年度知床半島中央部地区利用適正化実施計画策定」

5. 平成18年度の検討状況

- (1) 知床半島先端部地区：環境省からの立入自粛要請を実施中。
19年度中に「先端部地区利用の心得（試行版）」を策定し、運用。「利用の調整」の具体化に向けて法制度の適用の検討を進める。
- (2) 知床半島中央部地区：「平成19年度知床半島中央部地区利用適正化実施計画」に基づき関係機関による取組みを推進。

(参考) 平成18年度の利用適正化検討会議等の検討経緯

平成18年4月24日

知床半島先端部地区の自然環境保全のための立ち入り自粛要請（環境省）

平成 18 年 6 月 22 日

- 先端部地区作業部会 : 利用の心得検討優先事項の確認
- 中央部地区作業部会 : 中央部地区基本計画の具体化の検討

平成 18 年 8 月 12 日

- 利用適正化検討会議 : 現地調査（8 月 11 日～12 日）を踏まえた意見交換

平成 18 年 11 月 6 日

- 中央部地区作業部会 : 中央部地区基本計画素案の検討
- (利用適正化検討会議) 利用者マップ（仮称）デザイン案

平成 18 年 12 月 20 日

- 先端部地区作業部会 : 先端部地区利用の心得（案）の検討
- 中央部地区作業部会 : 中央部地区利用適正化実施計画素案の検討
- 利用者マップ（仮称）骨子案・素案

平成 19 年 2 月 1 日（斜里）・2 日（羅臼）

- 中央部地区利用適正化実施計画素案についての地元説明会

平成 19 年 3 月 1 日

- 先端部地区作業部会 : 先端部地区における利用ルールの運用方針の確認
- 中央部地区作業部会 : 平成 19 年度中央部地区利用適正化実施計画の策定
- 利用者マップ素案の検討
- 利用適正化検討会議 : 今年度検討結果の確認

知床国立公園利用適正化検討会議構成メンバー

- ・ 検討委員（五十音順、敬称略）
 - 小川 巖（エコネットワーク代表）
 - 小林 昭裕（専修大学北海道短期大学教授）
 - 新庄 久志（釧路市環境政策課湿地保全主幹）
 - 高木 晴光（NPO 法人ねおす理事長）
 - 辻井 達一（財団法人北海道環境財団理事長） ※座長
 - 中川 元（斜里町立知床博物館長）
 - 中易 紘一（社団法人日本森林技術協会 北海道事務所長）